

- 1 教育事業名 「渡嘉敷ジュニアライフセービングキャンプ」
- 2 期 日 平成24年 8月 18日(土)～ 20日(月) 2泊3日
- 3 場 所 国立沖縄青少年交流の家 海洋研修場
- 4 募集定員 50名程度
- 5 参加人数 63名
- 6 参加者内訳 未就学児2名、小学生44名、中学生1名、社会人16名
(男性33名、女性30名)(県内53名、神奈川県10名)
- 7 講師 「星空観察」 岩元 慶吉
「海のプログラム」 NPO 法人沖縄ライフセービング協会10名
桃原正樹、東江宗典、座間吉成、与那嶺圭太、小林義雄、矢貫早弥、
矢貫柚衣、石原早織、下地成美、座間味洋貴

8 実施プログラム

8月18日(土)																						
		9:00	10:00	11:45	12:00	13:00	14:30	16:00	19:30	21:00	21:15	22:00										
		集合	出港	オープニング	昼食	アクション1	テント設営	アクション2	れよう まわりにな	シャワー	夕食	休憩	アクション3	しよう 星空を観察	ふりかえり	就寝準備	就寝					
8月19日(日)																						
6:30	7:00	7:30	8:30	9:30	11:30	12:00	13:00	15:00	18:00	19:30	20:45	21:00	22:00									
起床洗面	つどい	朝食	準備	アクション4	海の散策に 出かけよう	片づけ	シャワー	昼食	アクション5	海の生き物 を探そう	アクション6	火おこし	カレー作り	夕食	片付け	シャワー	アクション7	う い 出を残そ	渡嘉敷の思	ふりかえり	就寝準備	就寝
8月20日(月)																						
6:30	7:00	7:30	8:00	9:30	12:00	13:00	14:30	15:00	16:00	17:30												
起床洗面	つどい	朝食	清掃・テント 片づけ	アクション8	海の散策に 出かけよう	昼食	日記 感想文・絵	エンディング	移動	出港	解散											

- 1日目
テント設営、海のプログラム(泳力チェック、スノーケリングの基礎)
星空観察、ふりかえり
- 2日目
海のプログラム(ウミガメ観察ツアー、ニッパーボード、カヤックセルフレスキュー、
大型カヌー)、海の生き物のお勉強(ウミガメについて)、火おこし体験、野外炊飯、
渡嘉敷自由研究(絵日記の作成、貝殻フォトフレームの作成)、ふりかえり
- 3日目
海のプログラム(スノーケリング、ニッパーボード、水泳、リレー)
テント片付け、清掃

9 事業の様子



スノーケリングの基礎



様々な海のプログラム





セルフレスキュー



海への感謝



火おこし体験



テント設営



ふりかえり

10 参加者の声

- ・ いろいろな先生がいて、さんごやウミガメのことを教えてくれたので、自分がとても成長した。
- ・ いつもより助け合うことができた。
- ・ 泳げるようになった。潜れるようになった。
- ・ 今、サンゴがピンチだということ。
- ・ 命の大切さを知った。

11 担当者所見

この事業は、異年齢の子どもたちが、渡嘉敷島の豊かな自然の中で、自然体験や社会体験などの様々な体験活動を通して、コミュニケーション能力や規範意識を高めることをねらいとして実施した。

前年度より、NPO 法人沖縄ライフセービング協会と共催で事業を展開しているが、本年度はより連携を密にし、募集方法やプログラムの内容、事業参加者の受け入れ方法の改善を行った。

参加者は、渡嘉敷島の豊かな自然に触れるキャンプを通して、身近な環境問題について関心を高め、海に親しみ（自然への畏敬の念）、命の大切さ（生命尊重）、仲間の良さ（信頼・友情）、安全な活動を行うためにルールを守ること（規範意識）を認識できた。